

PMDAメディナビの 利活用状況等に関する調査 調査結果概要

令和3年6月



独立行政法人医薬品医療機器総合機構

PMDAメディナビの利活用状況等に関する調査

RMPを含めた医薬品等の安全性情報やPMDAメディナビの活用状況の把握及び、PMDAメディナビの利便性向上のための要望の収集を目的として、PMDAメディナビ利用者のうち医療関係施設に所属する方を対象者としたアンケート調査を実施した。調査及び結果の概要は以下の通り。

調査概要

【調査対象及び方法】 回答方法はインターネット上のウェブ調査票での回答とした。PMDAメディナビの登録メールアドレス宛てに調査案内を送信し、回答を依頼した。また、PMDAホームページ上にweb調査票へのリンクを掲載した。

【調査期間】 令和2年11月26日～令和2年12月13日

【回収状況】 発送数※：189,463件、回答数（回収率）：7,766件（4.10%）

※令和2年11月26日にPMDAメディナビの登録メールアドレス宛に送付した調査案内の件数

目次

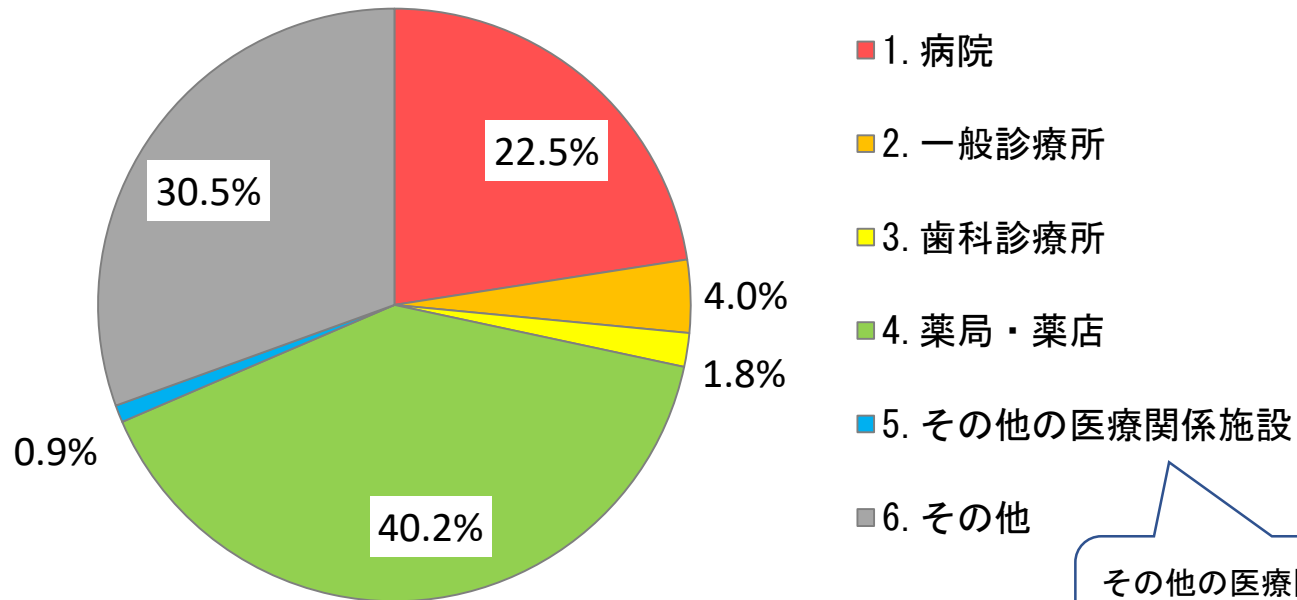
I . 回答者属性	3
II . PMDAメディナビについて	8
III . RMPについて	24

I . 回答者属性

回答者の所属について

Q1. あなたの勤務先として当てはまる「所属」をひとつだけお選びください

集計対象:すべての回答者(n=7,766)



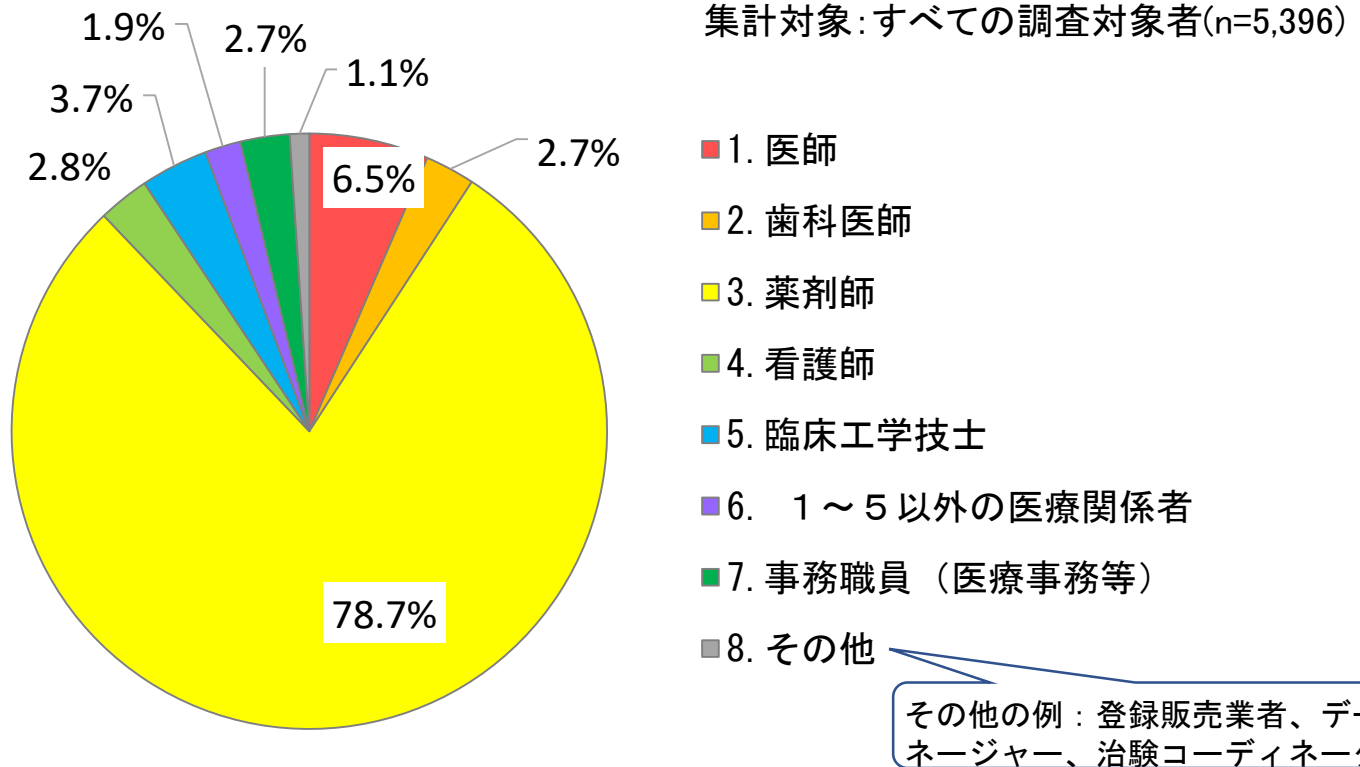
その他の医療関係施設の例：
介護老人保健施設
訪問看護ステーション 等

回答者の「所属」は、「薬局・薬店」(40.2%)が最も多く、次いで「その他」(30.5%)、「病院」(22.5%)の順であった。

回答者の職種について

Q2. あなたの「職種」として当てはまるものをひとつだけお選びください

以降はQ1で所属を「病院」「一般診療所」「歯科診療所」「薬局・薬店」「その他の医療関係施設」とした回答者を「すべての調査対象者」としています。

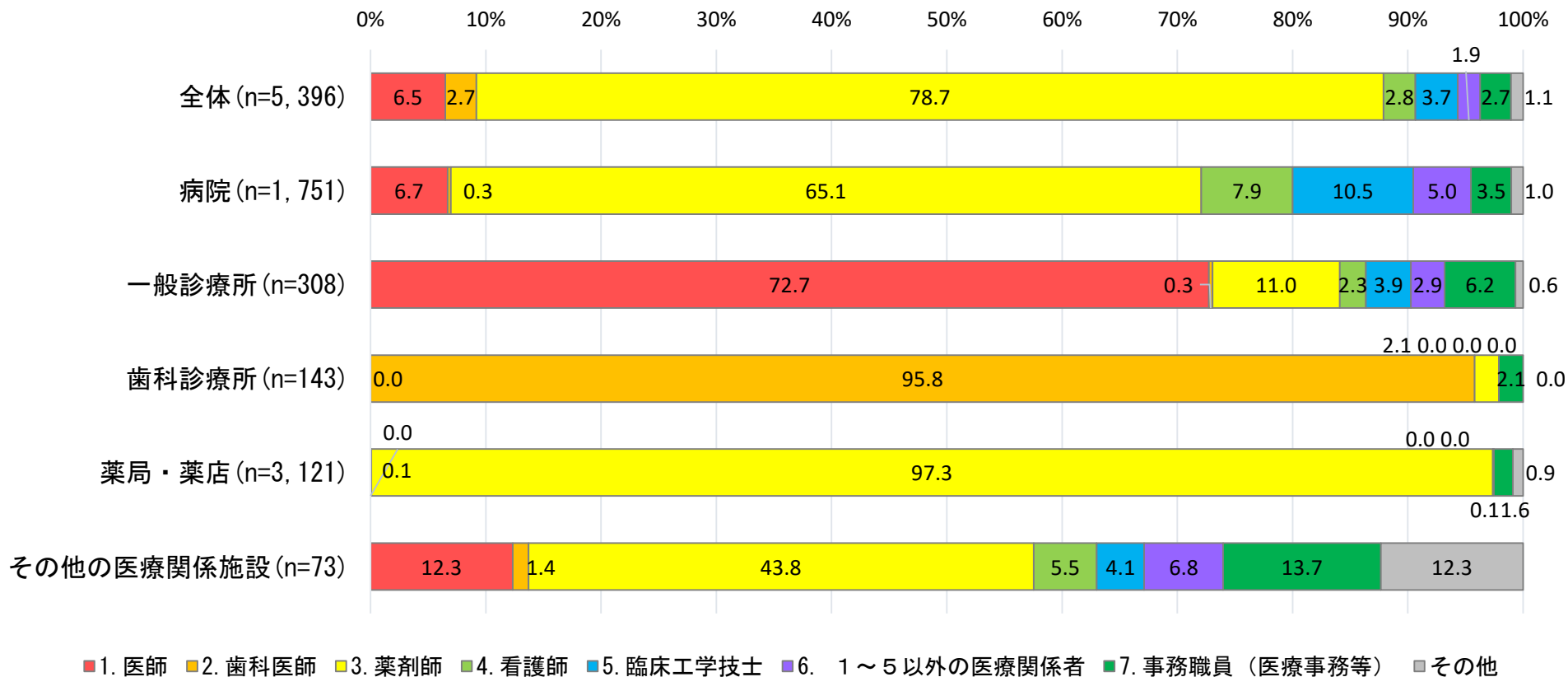


回答者の「職種」は、「薬剤師」(78.7%)が最も多く、次いで「医師」(6.5%)、「臨床工学技士」(3.7%)の順であった。

所属×職種

Q1. あなたの勤務先として当てはまる「所属」をひとつだけお選びください

Q2. あなたの「職種」として当てはまるものをひとつだけお選びください



「病院」の回答者は、「薬剤師」が65.1%と最も多かった。
「薬局・薬店」の回答者は、「薬剤師」が97.3%とほとんどを占めた。

まとめ（回答者）

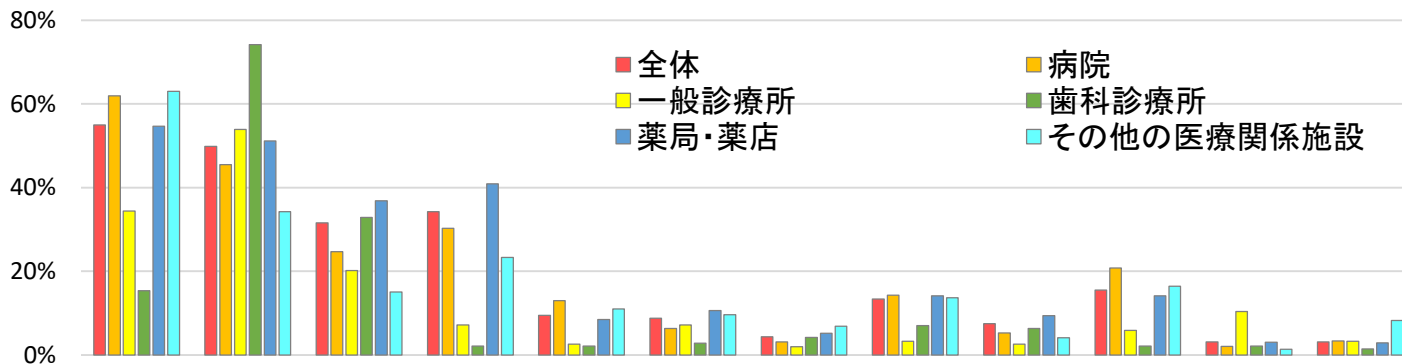
- ◆回答者の所属は薬局・薬店、病院が多かった。
- ◆職種は薬剤師が一番多く、次いで医師が多かった。

Ⅱ. PMDAメディナビについて

PMDAメディアナビの認知経路について

Q3. PMDAメディアナビを何で知りましたか。(複数回答)

集計対象:すべての調査対象者(n=5,396)



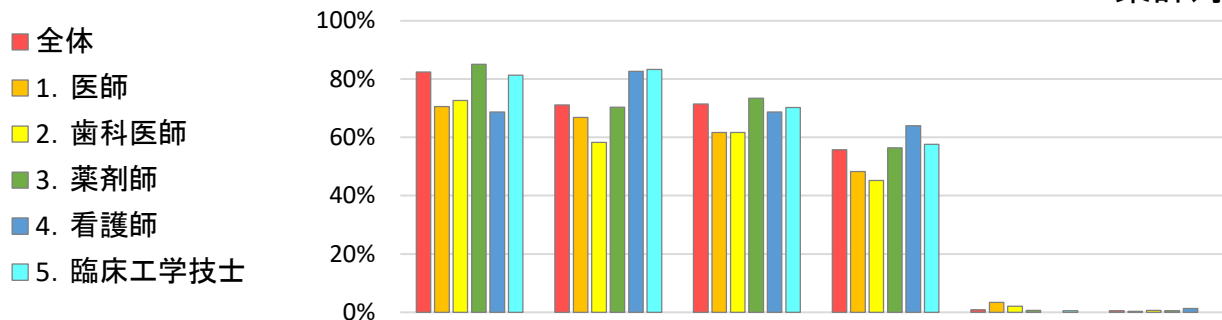
		合計	PMDAのホームページ	厚生労働省発行の「医薬品・医療機器等安全性情報」(厚生労働省発行)	「医薬品・医療機器等安全性情報」(日本製薬団体連合会発行)	「勤務先内・外での研修会、勉強会」	PMDA大会での講演・	「物販業者」の「マテリアル」等	「医薬品・医療機器製造」	「物販業者」の「マテリアル」等	「マテリアル」等	「学会・研究会」等	「医療専門雑誌、ラジオ」	「同僚や上司の紹介」	不明	その他
	全体	5396	55.0	49.9	31.5	34.2	9.5	8.8	4.2	13.4	7.5	15.5	3.1	3.1		
所属	病院	1751	62.0	45.5	24.7	30.3	13.0	6.3	3.1	14.3	5.3	20.8	2.1	3.3		
	一般診療所	308	34.4	53.9	20.1	7.1	2.6	7.1	1.9	3.2	2.6	5.8	10.4	3.2		
	歯科診療所	143	15.4	74.1	32.9	2.1	2.1	2.8	4.2	7.0	6.3	2.1	2.1	1.4		
	薬局・薬店	3121	54.7	51.1	36.8	40.9	8.5	10.6	5.2	14.2	9.4	14.1	3.0	2.9		
	その他の医療関係施設	73	63.0	34.2	15.1	23.3	11.0	9.6	6.8	13.7	4.1	16.4	1.4	8.2		

- メディナビ認知経路は、多いものから順に「PMDAのホームページ」(55.0%)、「医薬品・医療機器等安全性情報(厚生労働省発行)」(49.9%)、「勤務先内・外での研修会、勉強会」(34.2%)であった。
- 所属別に認知経路をみると、「病院」「薬局・薬店」では、「PMDAのホームページ」からの割合が最も高かった一方で「一般診療所」「歯科診療所」では、「医薬品・医療機器等安全性情報」からの割合が最も高かった。

PMDAメディナビに登録するメリットについて

Q4. PMDAメディナビに登録するメリットをどのように感じていますか(複数回答)

集計対象:すべての調査対象者(n=5,396)



※以降、職種とのクロス集計では「1~5以外の医療関係者」「事務職員」「その他」は省略しています。

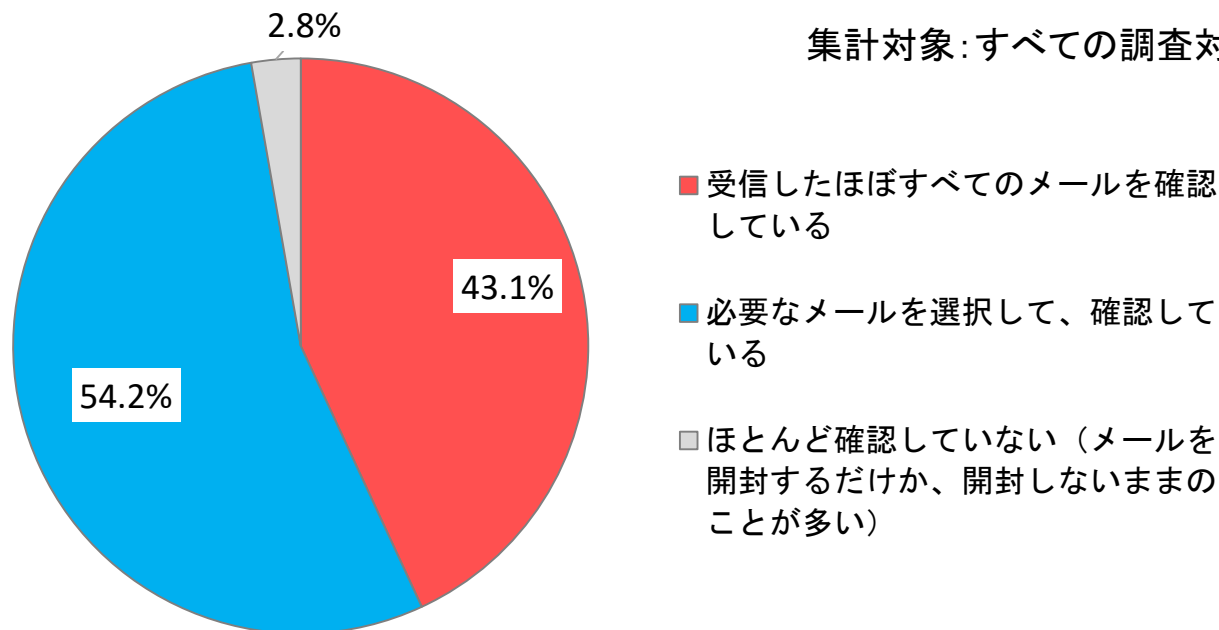
		合計	報 が 即 日 配 信 さ れ る	報 を 幅 広 く 入 手 で き る	報 を 得 ら れ る 信 頼 で き る 情 報	公 的 機 関 で あ る P M D A	認 め ら れ る 取 り か ね な い も の も 確 認 し て い か ね な い 新 規 ／ 更 新 情 報 を 自 ら 確 認 し て い か ね な い	特 に 登 録 す る メ リ ッ ト は	そ の 他
	全体	5396	82.4	71.1	71.5	55.7	0.9	0.5	
職種	1. 医師	350	70.6	66.9	61.7	48.3	3.4	0.3	
	2. 歯科医師	146	72.6	58.2	61.6	45.2	2.1	0.7	
	3. 薬剤師	4246	85.0	70.3	73.5	56.4	0.7	0.5	
	4. 看護師	150	68.7	82.7	68.7	64.0	0.0	1.3	
	5. 臨床工学技士	198	81.3	83.3	70.2	57.6	0.5	0.0	

- メディナビのメリットは、多いものから順に「医薬品や医療機器等の情報が即日配信される」(82.4%)、「公的機関であるPMDAが発信する信頼できる情報を得られる」(71.5%)、「医薬品や医療機器等の情報を幅広く入手できる」(71.1%)であった。
- 職種別にみると、「医師」「歯科医師」「薬剤師」は、その迅速性に最も利点を感じており、「看護師」「臨床工学技士」ではその網羅性に最も利点を感じていることが示唆された。

PMDAメディナビ受信時の確認状況について

Q5.PMDAメディナビを受け取った際、どれ位の割合で配信内容を確認※していますか。
最も当てはまるものをひとつだけお選びください。

※メール本文を読む、リンク先をクリックする、添付ファイルを開くのいずれかを行う場合を確認しているとします。メールを開封するだけの場合は含みません。

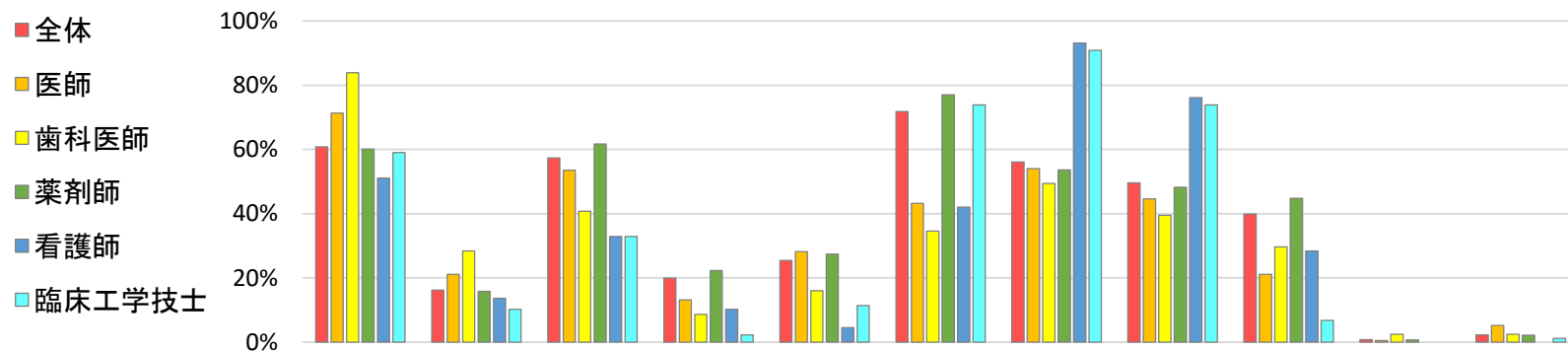


- 「必要なメールを選択して、確認している」が最も多く、54.2%であった。

メディアビの内容を確認する割合が高い配信項目について

Q6. 次のうち、配信内容を確認する割合が高い配信項目を教えてください(複数回答)

集計対象: Q5で「必要なメールを選択して、確認している」、「ほとんど確認していない」とした回答者(n=3,071)



		合計	知指示・自主点検通知	評価中のリスク等	適正使用に関するお知らせ	医薬品リスク管理計画(RMP)	承認情報	回収情報	PMDA医療安全情報	生労働省発行の厚生労働省安全性情報(厚)	医薬品安全対策情報(DSU)	その他	高い確認項目は
職種	全体	3071	60.8	16.2	57.4	19.9	25.4	71.9	56.1	49.6	39.9	0.8	2.2
	医師	213	71.4	21.1	53.5	13.1	28.2	43.2	54.0	44.6	21.1	0.5	5.2
	歯科医師	81	84.0	28.4	40.7	8.6	16.0	34.6	49.4	39.5	29.6	2.5	2.5
	薬剤師	2455	60.2	15.8	61.7	22.3	27.4	77.0	53.7	48.2	44.8	0.7	2.1
	看護師	88	51.1	13.6	33.0	10.2	4.5	42.0	93.2	76.1	28.4	0.0	0.0
	臨床工学技士	88	59.1	10.2	33.0	2.3	11.4	73.9	90.9	73.9	6.8	0.0	1.1

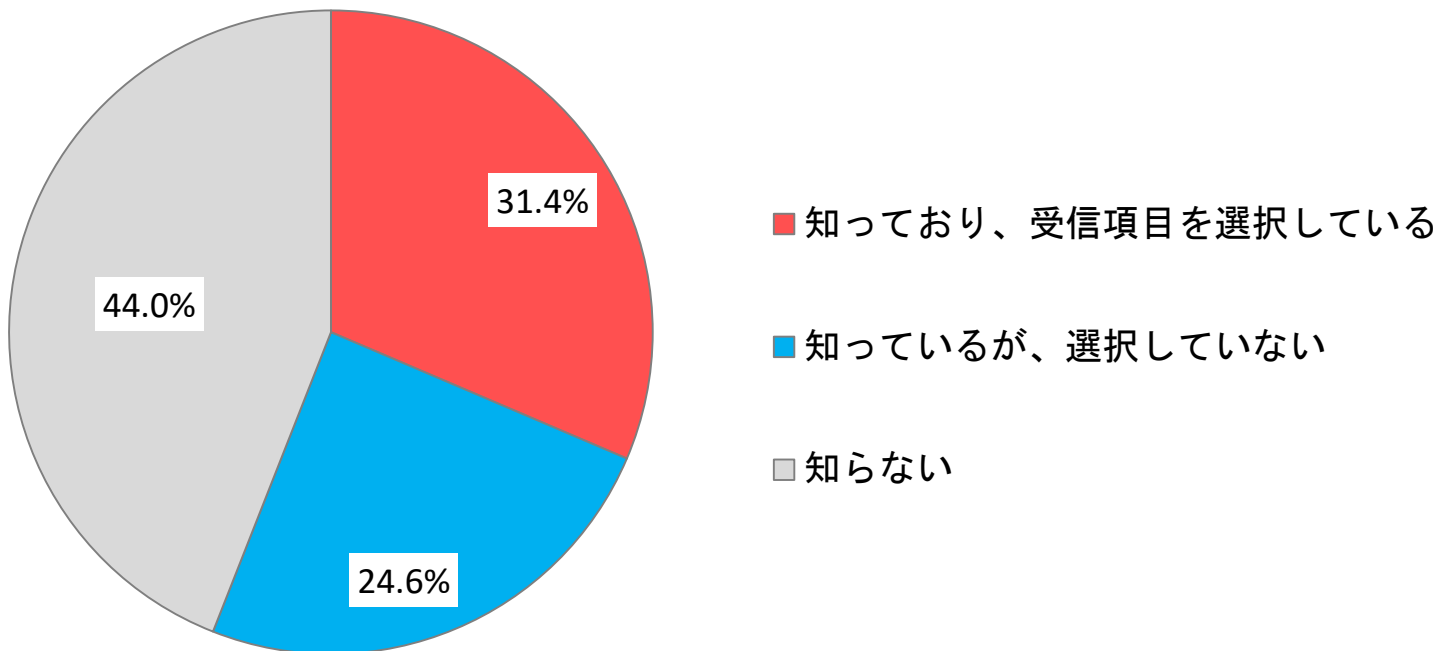
- 配信内容を確認する割合が高い配信項目としては「回収情報」(71.9%)が最も多く、次いで「使用上の注意改訂指示・自主点検通知」(60.8%)であった。
- 職種別にみると、医師・歯科医師では「使用上の注意改訂指示・自主点検通知」、薬剤師では「回収情報」、看護師・臨床工学技士では「PMDA医療安全情報」を確認している割合が高かった。

PMDAメディアナビの受信項目の選択機能について

Q7. 一部の情報※を除き、受信項目を選択できることをご存知ですか。

※緊急安全性情報(イエローレター)、安全性速報(ブルーレター)、厚生労働省からの使用上の注意改訂指示・自主点検通知、医薬品の適正使用に関するお知らせ

集計対象: Q5で「必要なメールを選択して、確認している」、「ほとんど確認していない」とした回答(n=3,071)

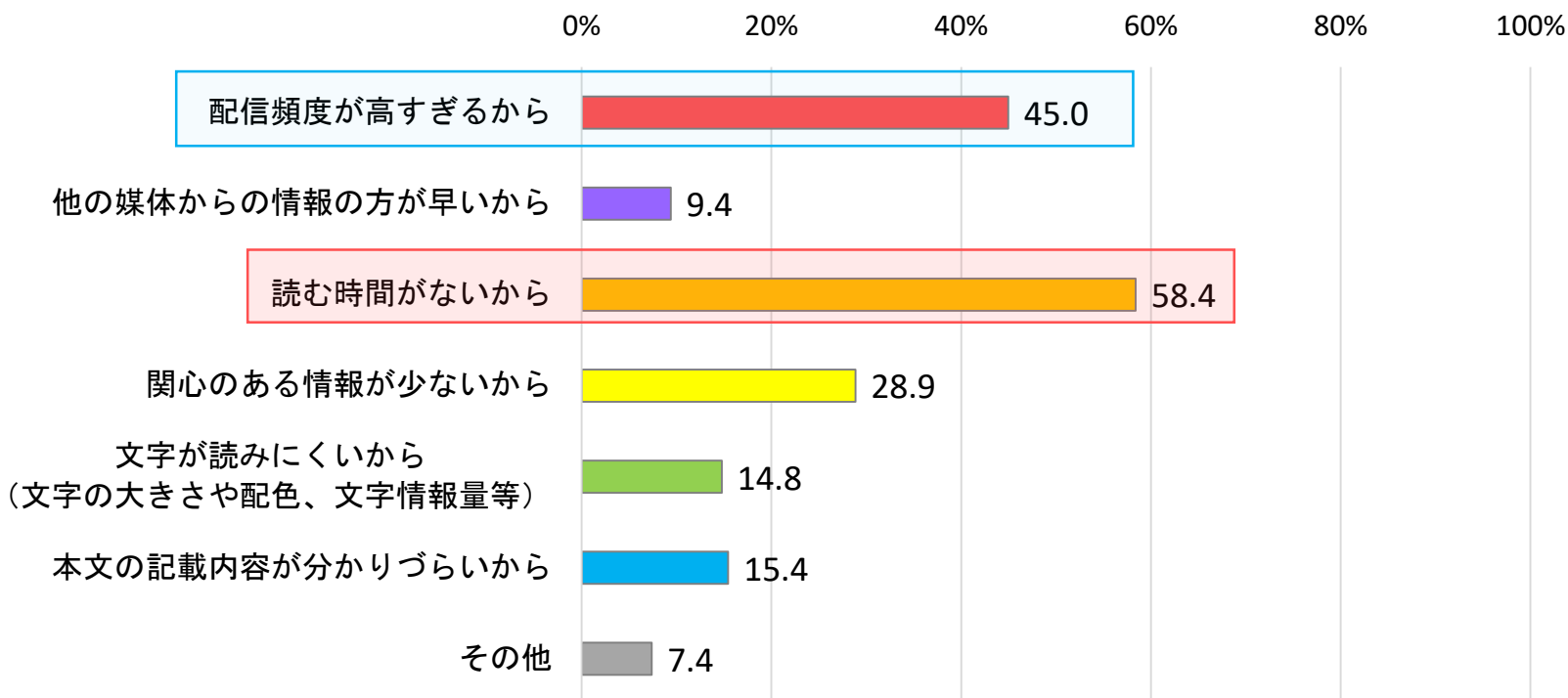


- 受信項目を選択できることを「知らない」が最も多く、44.0%であった。

PMDAメディアナビを確認しない理由について

Q8. PMDAメディアナビの配信内容をほとんど確認しない理由を教えてください。当てはまるものを全てお選びください(複数選択)。

集計対象: Q5を「ほとんど確認していない(メールを開封するだけか、開封しないままのことが多い)」とした回答者(n=149)

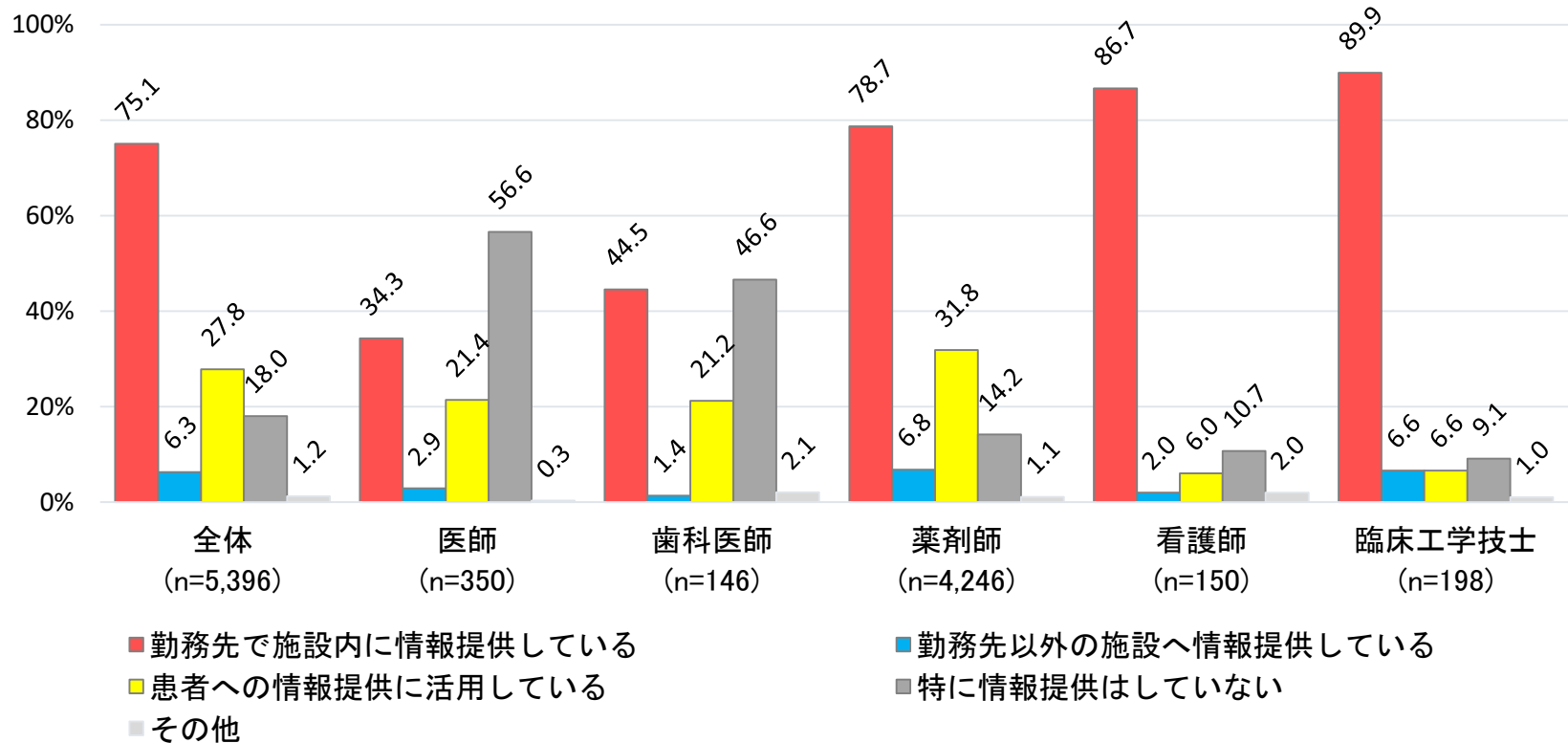


- 「読む時間がないから」が最も多く(58.4%)で、次いで「配信頻度が高すぎるから」(45.0%)であった。

PMDAメディナビで得た情報の他者への情報提供について

Q9. あなたはPMDAメディナビで入手した情報を他の方に提供していますか(複数回答)

集計対象:すべての調査対象者(n=5,396)

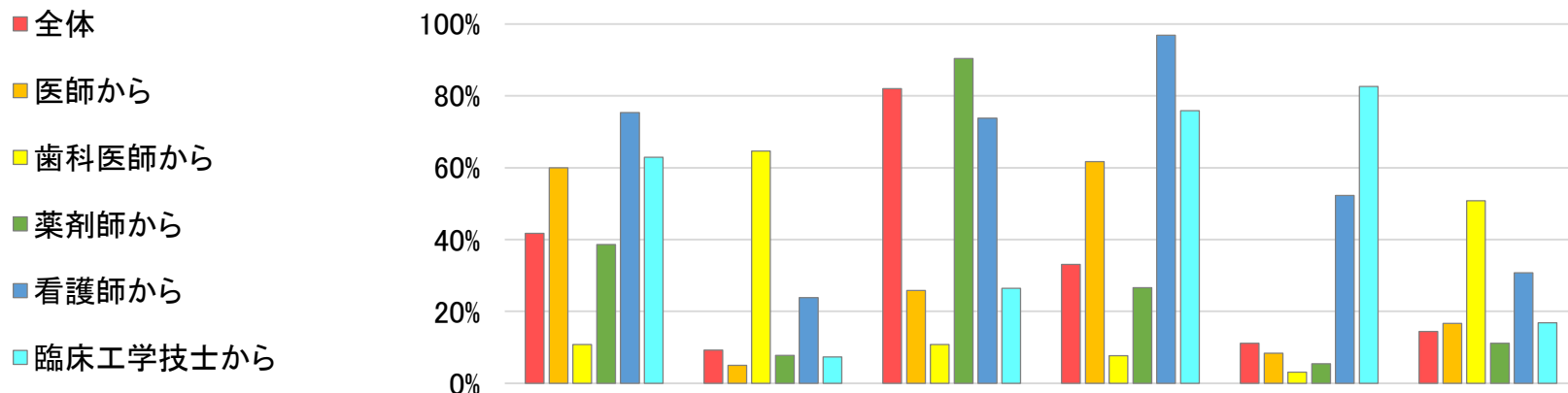


- PMDAメディナビの情報提供先として多いものから順に、「勤務先で施設内に情報提供している(75.1%)」、「患者への情報提供に活用している」(27.8%)、「特に情報提供はしていない」(18.0%)であった。

PMDAメディアナビで得た情報の提供先の職種について（提供元職種別）

Q10. 提供先の方の職種として当てはまるものを全てお選びください(複数回答)

集計対象：Q9で「勤務先で施設内に情報提供している」とした回答(n=4,050)



		合計	医師へ	歯科医師へ	薬剤師へ	看護師へ	臨床工学技士へ	その他へ
全体		4050	41.7	9.2	82.0	33.1	11.1	14.4
職種	医師から	120	60.0	5.0	25.8	61.7	8.3	16.7
	歯科医師から	65	10.8	64.6	10.8	7.7	3.1	50.8
	薬剤師から	3341	38.6	7.8	90.4	26.6	5.4	11.2
	看護師から	130	75.4	23.8	73.8	96.9	52.3	30.8
	臨床工学技士から	178	62.9	7.3	26.4	75.8	82.6	16.9

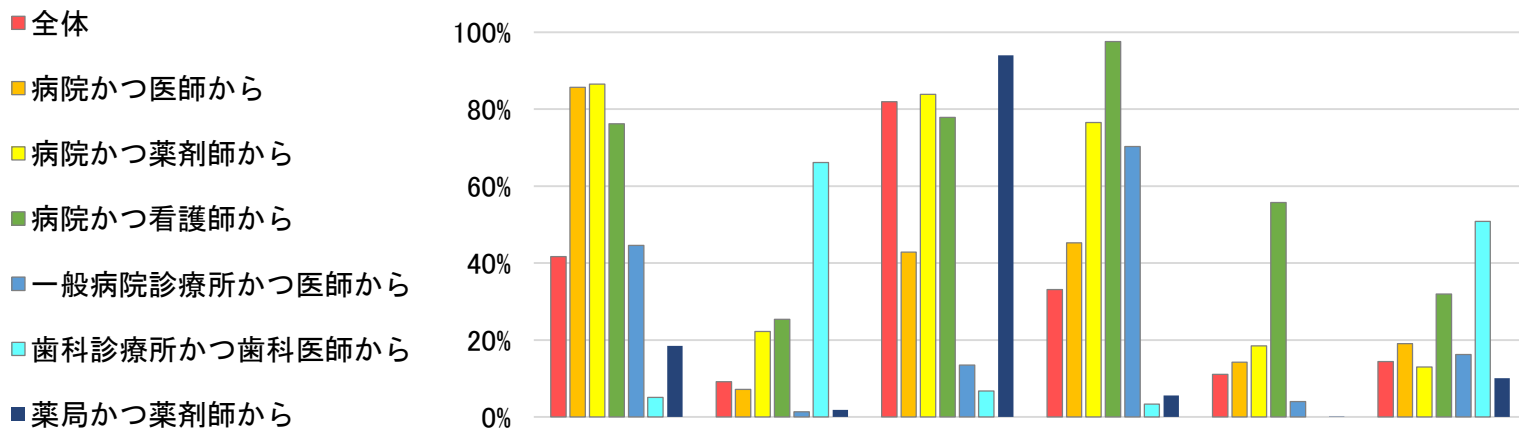
その他の例：医療事務、歯科衛生士、登録販売者、放射線技師、診療放射線技師、臨床検査技師

- 勤務先でのPMDAメディアナビで入手した情報の提供先の職種は多いものから順に、「薬剤師」(82.0%)、「医師」(41.7%)、「看護師」(33.1%)であった。
- 職種別にみると、「医師」は「医師」、「薬剤師」は「薬剤師」のように、同業種へ提供する割合が高い傾向が見られた。

PMDAメディナビで得た情報の提供先の職種について（提供元の所属×職種別）

Q11. 提供先の方の職種として当てはまるものを全てお選びください（複数回答）

集計対象：Q9で「勤務先で施設内に情報提供している」とした回答（n=4,050）



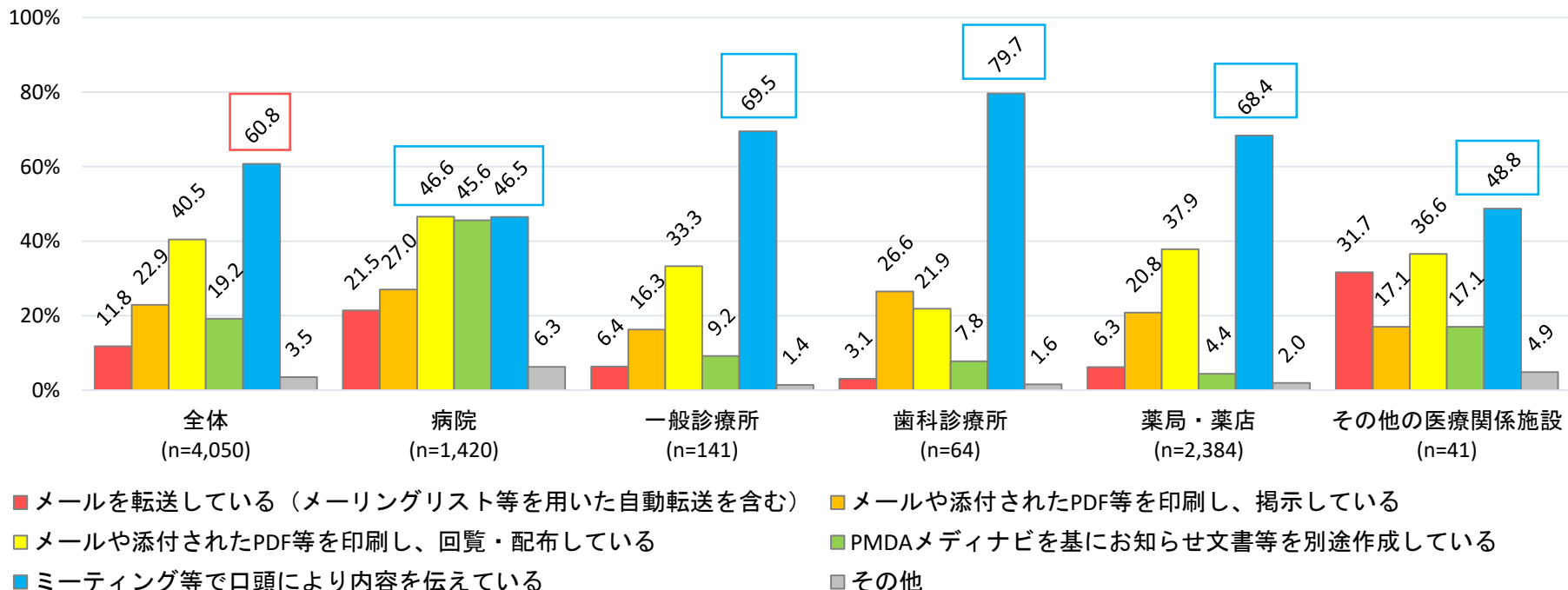
		合計	医師へ	歯科医師へ	薬剤師へ	看護師へ	臨床工学技士へ	その他へ
属性	全体	4050	41.7	9.2	82.0	33.1	11.1	14.4
	病院かつ医師から	42	85.7	7.1	42.9	45.2	14.3	19.0
	病院かつ薬剤師から	959	86.5	22.2	83.8	76.5	18.5	13.0
	病院かつ看護師から	122	76.2	25.4	77.9	97.5	55.7	32.0
	一般病院診療所 かつ医師から	74	44.6	1.4	13.5	70.3	4.1	16.2
	歯科診療所 かつ歯科医師から	59	5.1	66.1	6.8	3.4	0.0	50.8
	薬局かつ薬剤師から	2331	18.4	1.8	94.0	5.6	0.1	10.1

- 所属が病院の場合、同じ職種だけでなく、他職種への情報提供の割合も高かった。特に病院の薬剤師、看護師からの多職種への情報提供の割合が高かった。

PMDAメディナビにて情報入手した際の情報提供手段・方法について（勤務先施設内）

Q12. 勤務先にて情報提供する手段・方法のうち当てはまるものを全てお選びください（複数回答）

集計対象：Q9で「勤務先で施設内に情報提供している」とした回答（n=4,050）



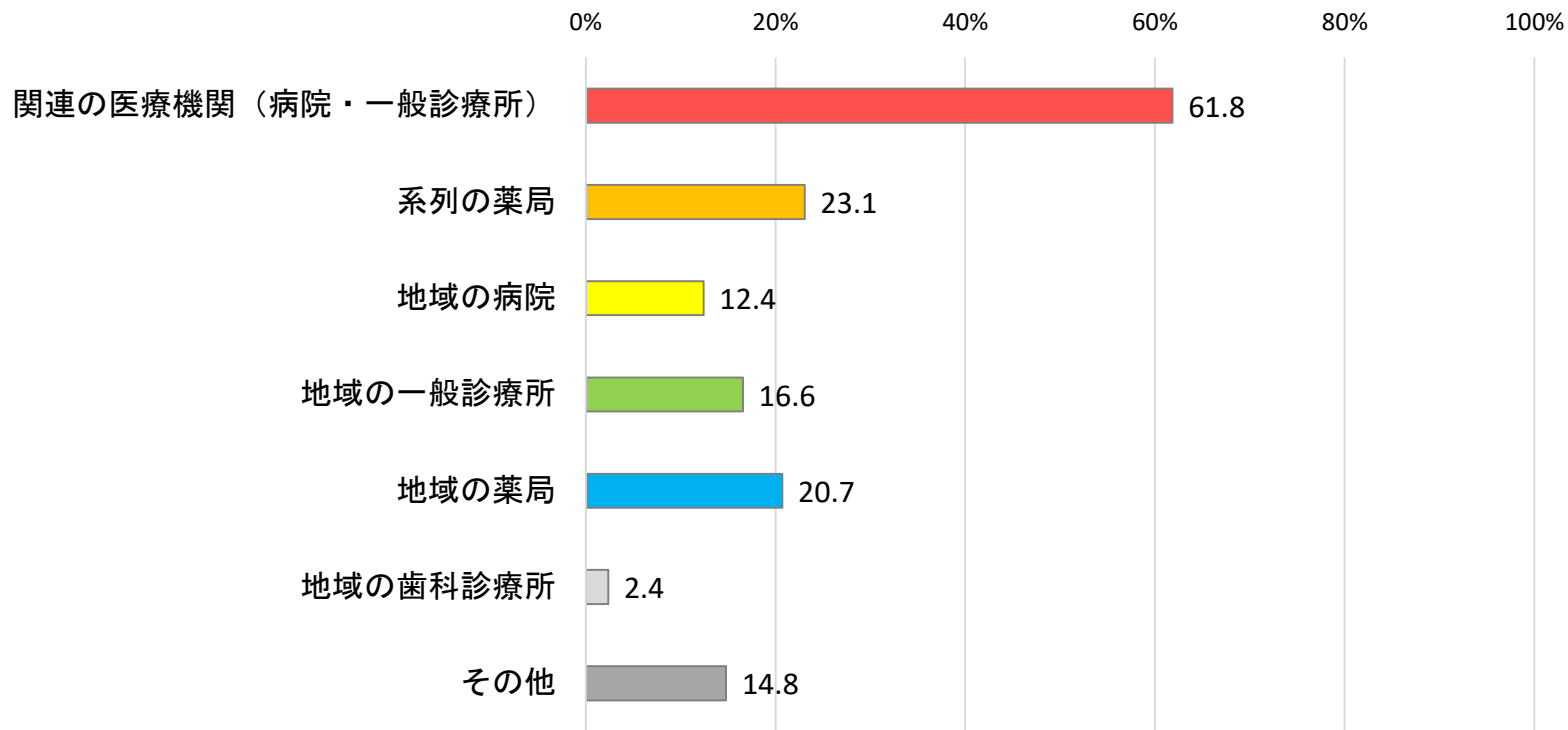
その他の例：電子カルテ、イントラネット、院内掲示板でPDFファイルを共有

- PMDAメディナビにて情報入手した際の情報提供方法は多いものから順に、「ミーティング等で口頭により内容を伝えている」(60.8%)、「メールや添付されたPDF等を印刷し、回覧・配布している」(40.5%)、「メールや添付されたPDF等を印刷し、掲示している」(22.9%)であった。
- 所属別にみると、「病院」は「メールや添付されたPDF等を印刷し、回覧・配布している」をはじめとした様々な方法で情報提供しているのに対し、それ以外の所属では「ミーティング等で口頭により内容を伝えている」が最も多かった。

PMDAメディナビの勤務先以外への提供先について

Q13. 勤務先以外の施設へのPMDAメディナビ情報の提供についてお伺いいたします。提供先として当てはまるものを全てお選びください(複数選択)

集計対象: Q9で「勤務先以外の施設へ情報提供している」(n=338)

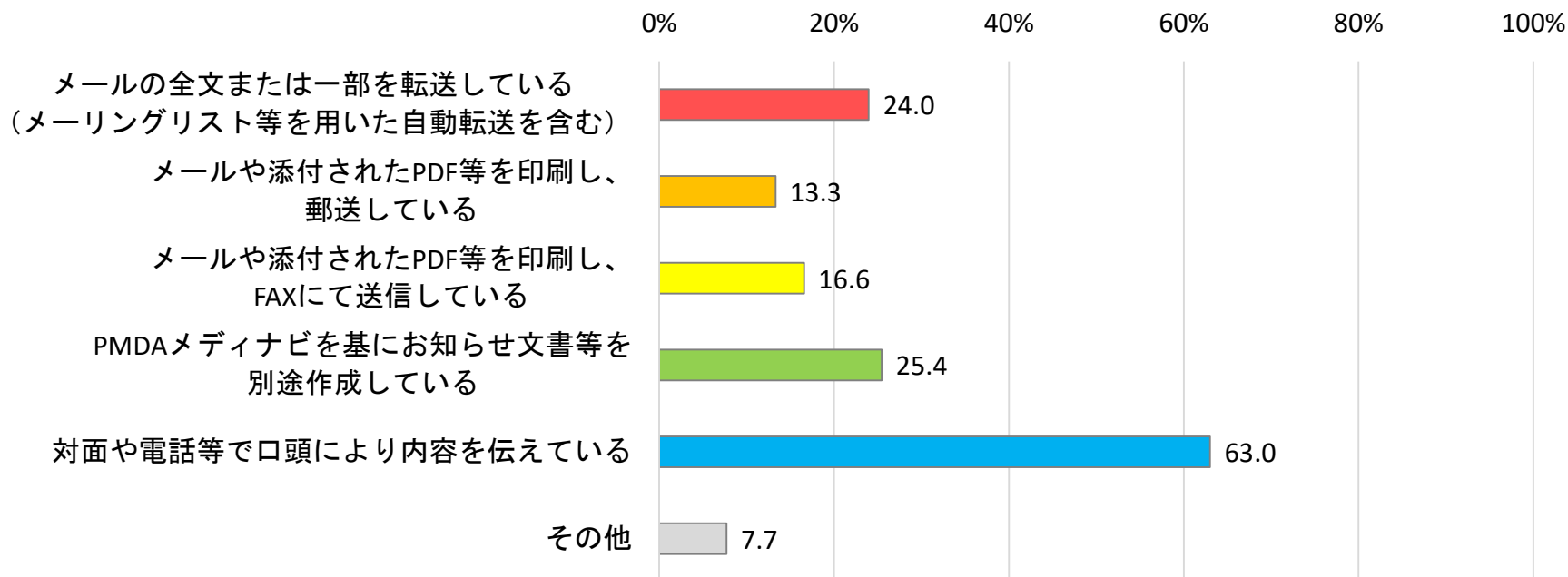


- PMDAメディナビを勤務先以外へ提供する先は多いものから順に、「関連の医療機関(病院・一般診療所)」(61.8%)、「系列の薬局」(23.1%)、「地域の薬局」(20.7%)であった。

PMDAメディアナビにて情報入手した際の情報提供手段・方法について（勤務先以外）

Q14. 勤務先以外の施設へ情報提供する手段・方法のうち当てはまるものを全てお選びください(複数選択)

集計対象: Q9で「勤務先以外の施設へ情報提供している」(n=338)



- PMDAメディアナビを勤務先以外へ提供する手段・方法は多いものから順に、「対面や電話等で口頭により内容を伝えている」(63.0%)、「PMDAメディアナビを基にお知らせ文書等を別途作成している」(25.4%)、「メールの全文または一部を転送している(メーリングリスト等を用いた自動転送を含む)」(24.0%)であった。

メディナビで事故の未然防止や業務に役立った具体的事例について

Q15. PMDAメディナビで情報を入手していたことにより、副作用の重篤化や医療事故を未然に防いだ等、業務に役立った具体的事例があれば教えてください。(自由記述)

集計対象:すべての調査対象者(n=5396)

主な意見 (一部抜粋)

- **ブルーレター発出の情報を早期に入手できたことにより、副作用の早期発見など初動対応が適切に実施できた。**
- **副作用被害救済制度について、不支給となった事例を確認することで、日常業務において留意すべき点に気づく等、適正使用の推進につながった。**
- **回収情報について、ロット番号も含めて提供されるため該当範囲の特定もしやすく、即時対応 (投薬を未然に防ぐ等) ができた。**
- **名称の類似した医薬品の取り違え注意のお知らせを情報共有することで、投薬・処方ミスを事前に防げた。**

まとめ（PMDAメディナビ①）

- ◆ 回答者の多くがその迅速性や情報の網羅性、信頼性にメリットを感じていた。
- ◆ PMDAメディナビの配信内容の確認状況については、配信されたメールの中から必要なメールを選択し、確認している回答者が最も多かった。確認する割合が高い配信項目は回収情報、使用上の注意改訂指示・自主点検通知であった。また、職種によっても確認する配信項目が異なることが伺われた。
- ◆ PMDAメディナビの配信内容をほとんど確認しない回答者について、その理由は「読む時間がないから」「配信頻度が高すぎるから」であった。また、PMDAメディナビは配信項目を選択できるが、それを知らない回答者も多くいることがわかった。

まとめ（PMDAメディナビ②）

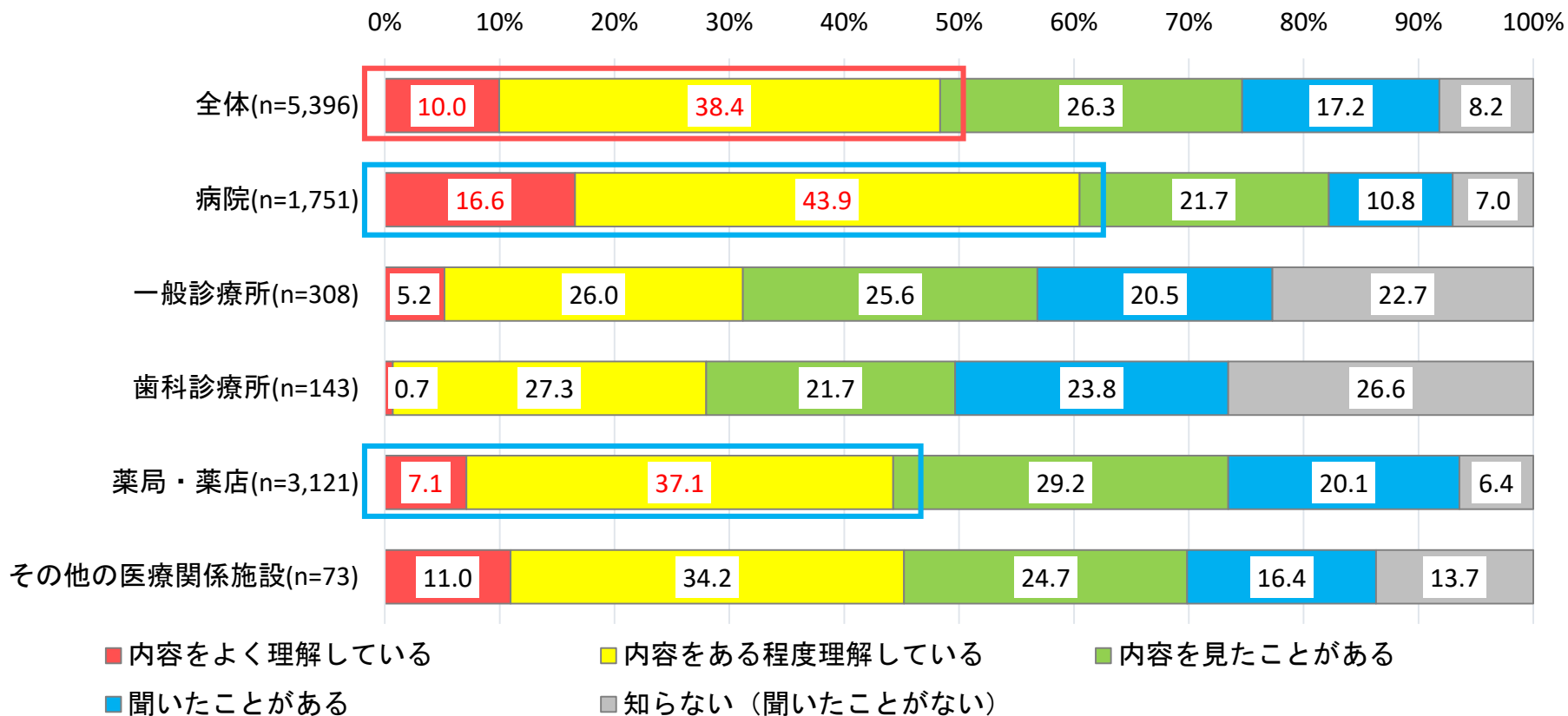
- ◆ 本調査において、PMDAメディナビ受信時の他者への情報提供については、所属施設外よりも所属施設内での情報提供が多かった。また、提供先の職種については、同じ職種への情報提供が最も多かった。一方、本調査においては、様々な職種が働く病院においては当該施設に所属する他職種への情報提供も行われている傾向にあった。
- ◆ 所属施設内での情報提供の手段については、「ミーティング等で口頭により内容を伝えている」回答が最も多く、ついで「メールや添付されたPDF等を印刷し、回覧・配布している」回答が多かった。
- ◆ 所属施設外への情報提供の手段については、「対面や電話等で口頭により内容を伝えている」回答が最も多かった。

Ⅲ. RMP について

RMPの認知度について

Q16. 医薬品リスク管理計画 (RMP)をご存知ですか

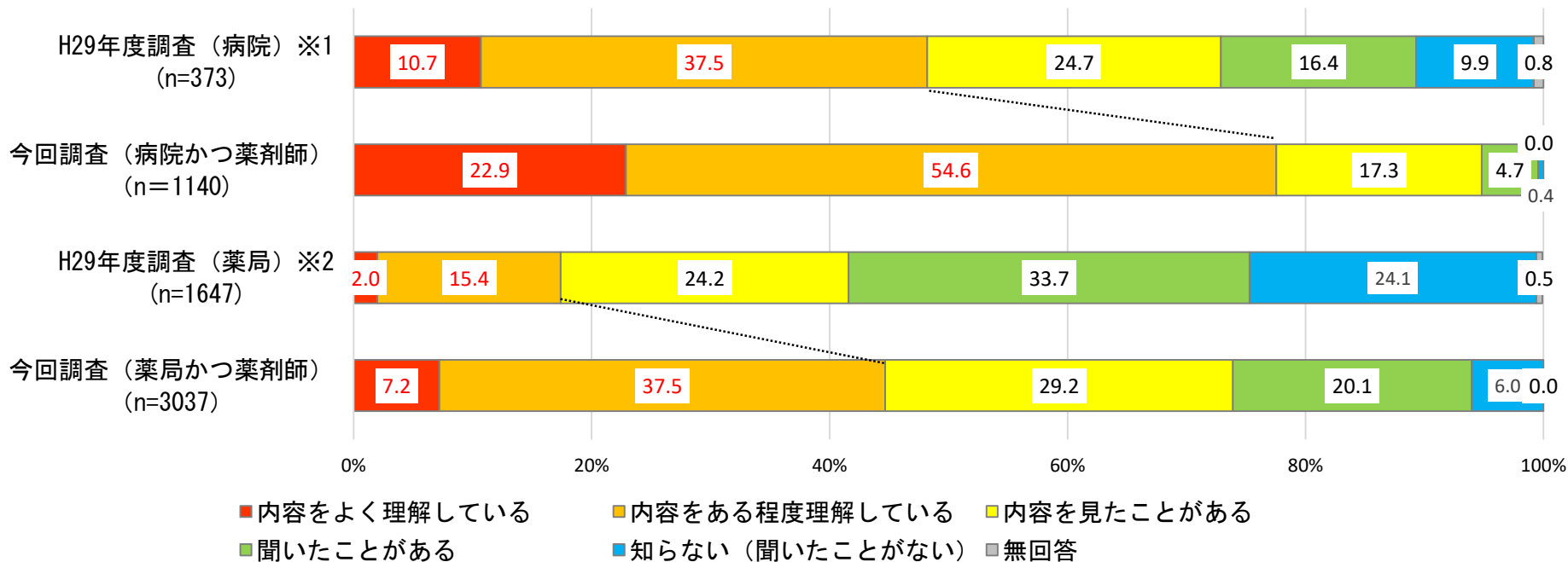
集計対象：すべての調査対象者(n=5,396)



- RMPの認知度(「内容をよく理解している」及び「内容をある程度理解している」)は48.4%であった。
- 所属別の認知度は病院では60.5%と最も高く、次いで薬局・薬店(44.2%)であった。

RMPの認知度について（【参考】平成29年度調査との比較）

Q16. 医薬品リスク管理計画（RMP）をご存知ですか



※1：『平成29年度 病院における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より
 【調査対象】 全国の病院のうち10%無作為抽出（844施設）【回答者】 医薬品安全管理責任者

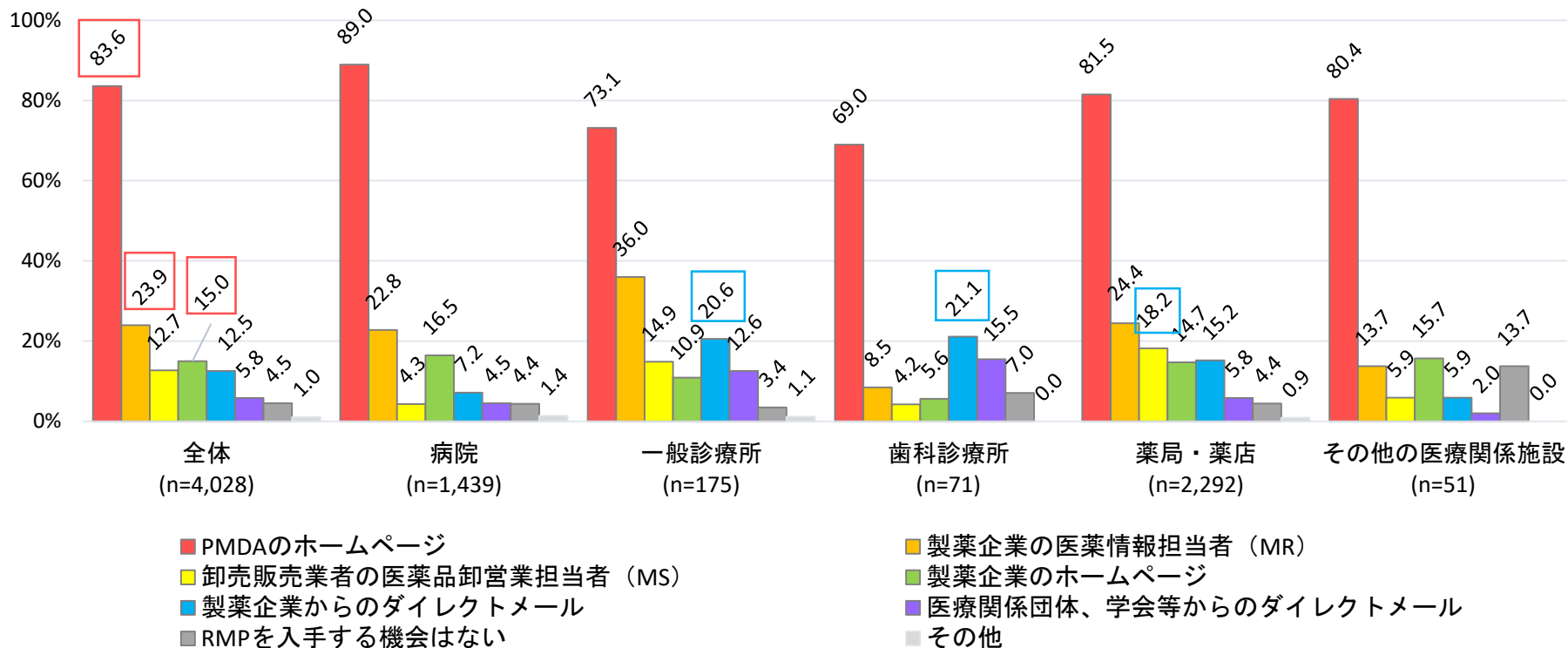
※2：『平成29年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より
 【調査対象】 全国の保険薬局のうち5%無作為抽出（2,934施設）【回答者】 調査対象施設における管理薬剤師またはDI担当者

● 調査対象が異なるため、直接の比較はできないが、平成29年度調査に比べ、薬局、病院いずれもRMPの認知度は向上していることが期待できる結果であった。

RMPの入手先について

Q17. RMPをどこから入手していますか(複数選択)

集計対象: Q16で「内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」「内容を見たことがある」とした回答者(n=4,028)

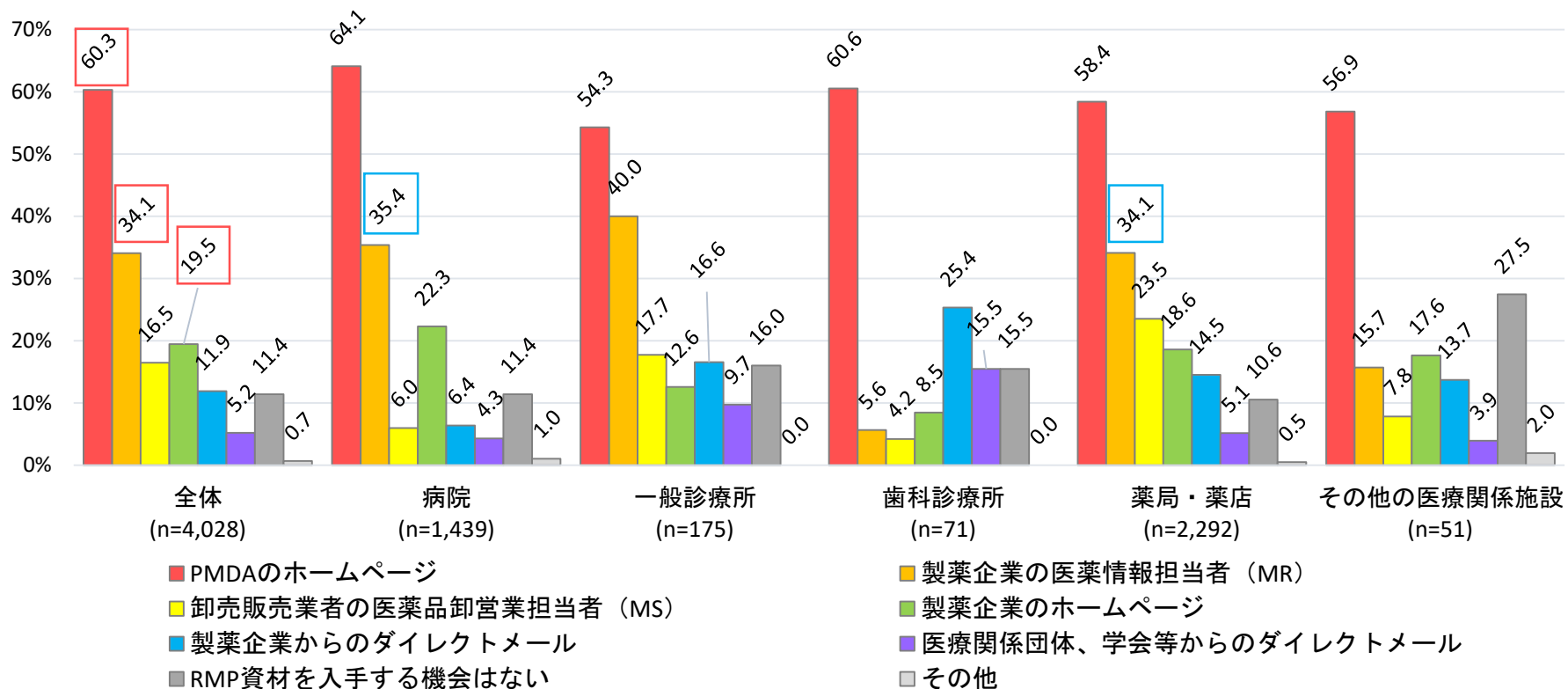


- RMPの入手先は多いものから順に、「PMDAのホームページ」(83.6%)、「製薬企業の医薬情報担当者(MR)」(23.9%)、「製薬企業のホームページ」(15.0%)であった。
- 所属別にみると、いずれの施設でもこの順序はほぼ同様の傾向であったが、「一般診療所」「歯科診療所」では「製薬企業からのダイレクトメール」からの入手割合が他の所属に比べて高く、「薬局・薬店」では「卸売り販売業者の医薬品卸営業担当(MS)」からの入手割合が他の所属に比べて高かった。

RMP資材の入手先について

Q18. 追加のリスク最小化活動に基づく資材(RMP資材)をどこから入手することが多いですか(複数選択)

集計対象: Q16で「内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」「内容を見たことがある」とした回答者(n=4,028)

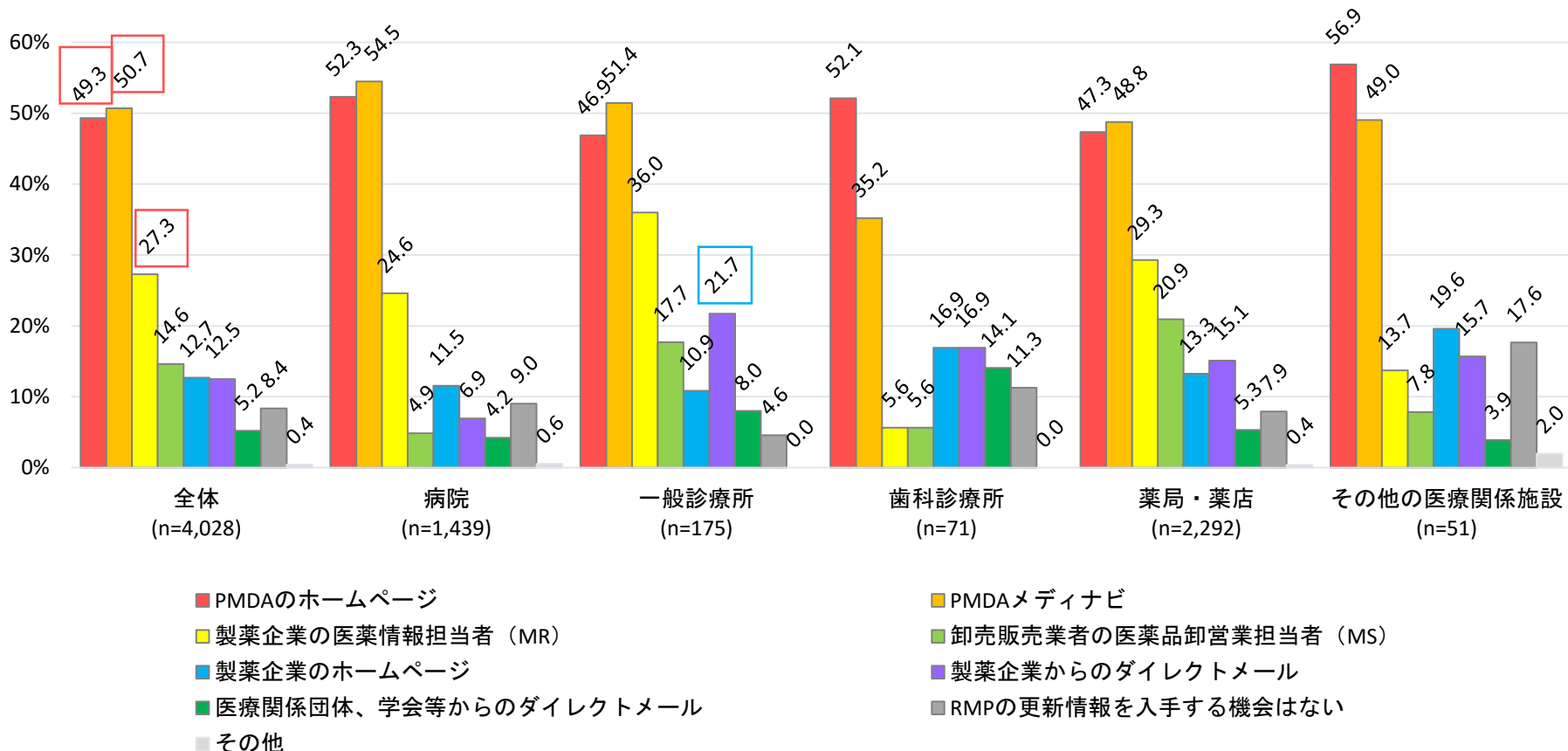


- RMP資材の入手先は多いものから順に、「PMDAのホームページ」(60.3%)、「製薬企業の医薬情報担当者(MR)」(34.1%)、「製薬企業のホームページ」(19.5%)であった。
- 所属別にみると、いずれの施設でもRMPの入手先と同様の傾向が見られた。RMP資材では、「病院」「薬局・薬店」においては、「製薬企業の医薬情報担当者(MR)」から入手する割合がRMPに比べ高かった。

RMP及びRMP資材の更新情報の入手先について

Q19. RMP及びRMP資材の更新情報をどこから入手していますか(複数選択)

集計対象: Q16で「内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」「内容を見たことがある」とした回答者(n=4,028)



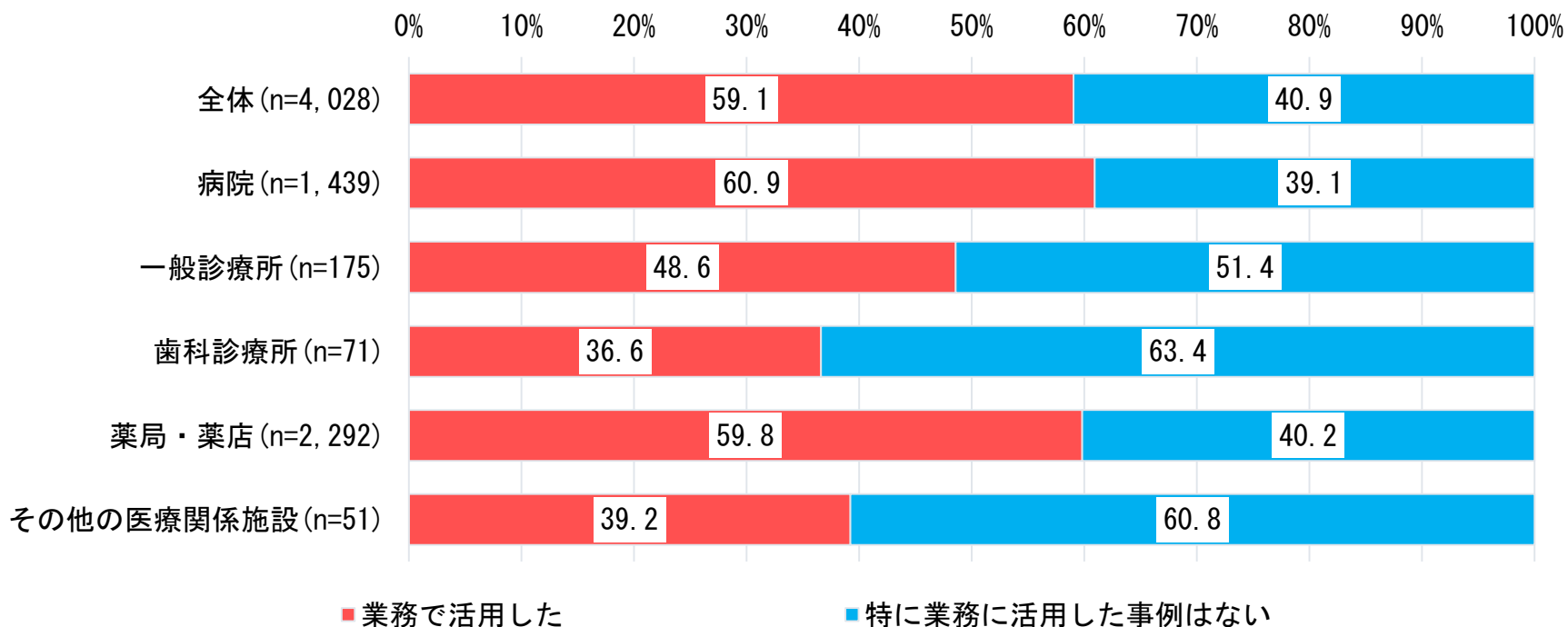
- RMP及びRMP資材の更新情報の入手先は多いものから順に、「PMDAメディアナビ」(50.7%)、「PMDAのホームページ」(49.3%)、「製薬企業の医薬情報担当者(MR)」(27.3%)であった。
- 所属によって大きく傾向は変わらないが、一般診療所においては「製薬企業からのダイレクトメール」の割合が他の所属に比べて高い傾向にあった。

RMPやRMP資材の業務への活用事例について

Q20. RMPやRMP資材について、業務に活用した事例があれば教えてください（複数選択）

※スライド32において「特に業務に活用した事例はない」と回答した者以外を「業務で活用した」としてカウントしている。

集計対象：Q16で「内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」「内容を見たことがある」とした回答者
(n=4,028)



- RMPやRMP資材を業務の活用有無では、「業務で活用した」は59.1%、「特に業務に活用した事例はない」は40.9%であった。
- 所属別にみると、「業務で活用した」は「病院」(60.9%)が最も多く、「歯科診療所」(36.6%)が最も低かった。

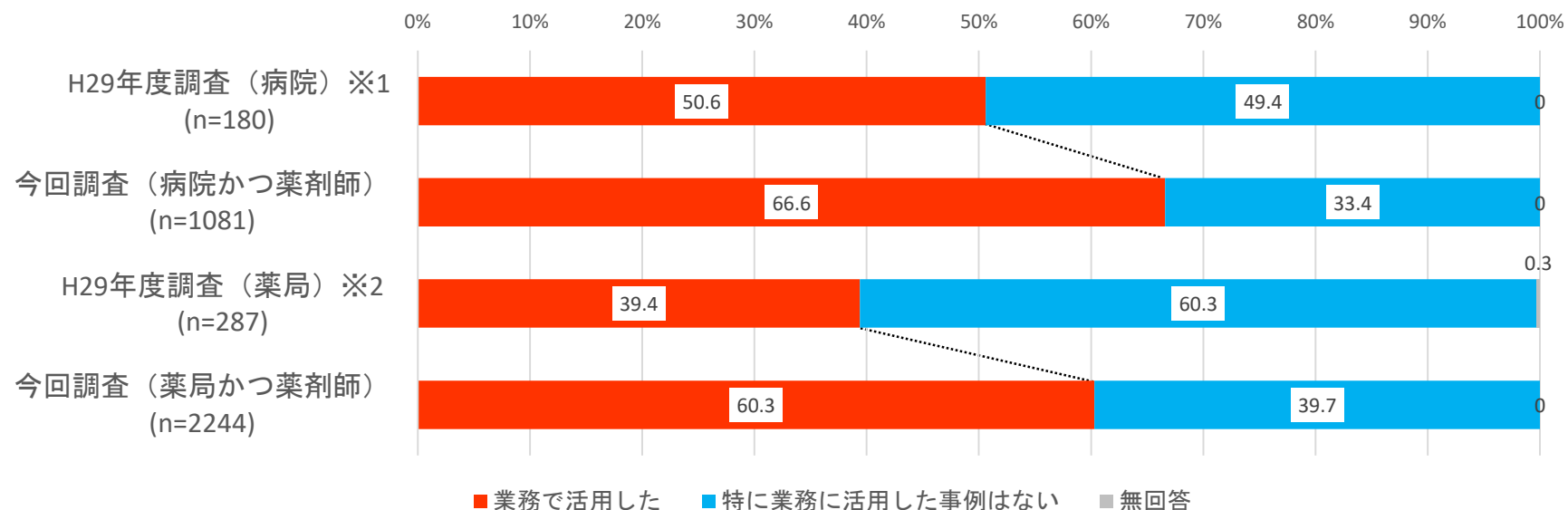
RMPやRMP資材の業務への活用事例について（【参考】平成29年度調査との比較）

Q20. RMPやRMP資材について、業務に活用した事例があれば教えてください（複数選択）

※スライド32において「特に業務に活用した事例はない」と回答した者以外を「業務で活用した」としてカウントしている。

（集計対象）

- 今回調査はQ16で、RMPを「内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」「内容を見たことがある」とした回答者(n=4028)
- H29年度調査は※1、※2の調査において「RMPの内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」と回答した者



※1：『平成29年度 病院における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より
【調査対象】 全国の病院のうち10%無作為抽出（844施設） 【回答者】 医薬品安全管理責任者

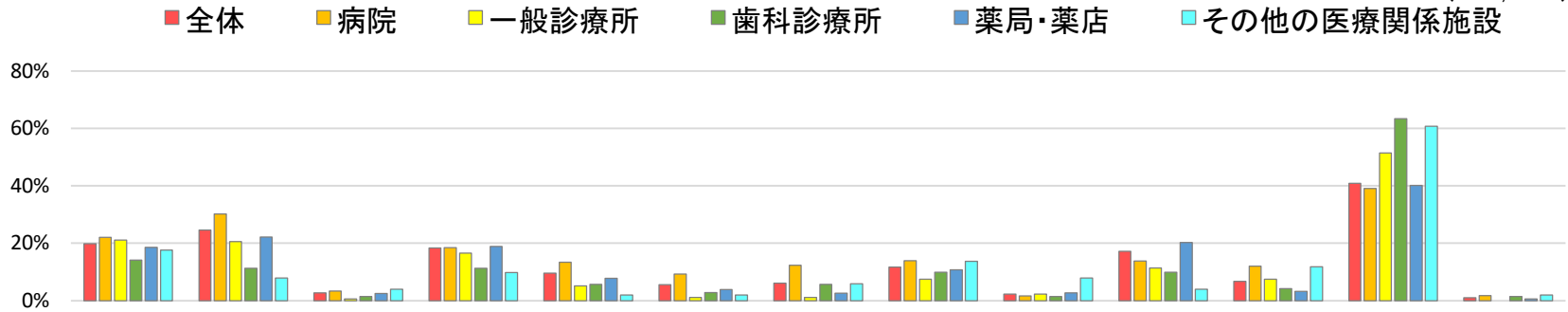
※2：『平成29年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より
【調査対象】 全国の保険薬局のうち5%無作為抽出（2,934施設） 【回答者】 調査対象施設における管理薬剤師またはDI担当者

- 調査対象、集計対象が異なるため、直接の比較はできないが、平成29年度調査に比べ、薬局、病院いずれもRMPやRMP資材の活用率は増加していることが期待できる結果であった。

RMPやRMP資材の業務への活用事例について（活用事例の詳細）

Q20. RMPやRMP資材について、業務に活用した事例があれば教えてください（複数選択）

集計対象：Q16で「内容をよく理解している」「内容をある程度理解している」「内容を見たことがある」とした回答者 (n=4, 028)



活用事例	全体	病院	一般診療所	歯科診療所	薬局・薬店	その他の医療関係施設
小化計画の概要を安全性検討事項、安全性監視計画、リスク管理として活用した	19.8	22.1	21.1	14.1	18.5	17.6
RMPを新薬採用／取扱い時にリスク把握の情報源として活用した	24.6	30.2	20.6	11.3	22.1	7.8
RMPを製造販売後調査等のスケジュール把握に活用した	2.7	3.3	0.6	1.4	2.5	3.9
RMPを副作用が疑われた際に活用した	18.4	18.5	16.6	11.3	18.8	9.8
RMPを医師等からの問合せへの対応に活用した	9.6	13.4	5.1	5.6	7.8	2.0
RMPを副作用モニタリングプログラムの作成に活用した	5.6	9.2	1.1	2.8	3.8	2.0
RMPを施設内のニュース作成時に活用した	6.1	12.4	1.1	5.6	2.6	5.9
RMPを施設内のニュース等として活用した	11.7	13.9	7.4	9.9	10.7	13.7
RMPを勤務先以外の施設への情報提供に活用した	2.3	1.6	2.3	1.4	2.7	7.8
患者向けのRMP資材を服薬指導に活用した	17.2	13.8	11.4	9.9	20.3	3.9
医療従事者向けのRMP資材を他職種への情報提供に活用した	6.7	12.0	7.4	4.2	3.3	11.8
特に業務に活用した事例はない	40.9	39.1	51.4	63.4	40.2	60.8
その他	1.0	1.7	0.0	1.4	0.6	2.0

- RMPやRMP資材を活用した事例としては、「RMPを新薬採用／取扱い時にリスク把握の情報源として活用した」が最も多かった（24.6%）。「患者向けのRMP資材を服薬指導に活用した」は17.2%であった。
- 所属別にみると、「病院」では「RMPを施設内のニュース作成時等に活用した」、「医療従事者向けのRMP資材を他職種への情報提供に活用した」の割合が高く、「薬局・薬店」では、「患者向けのRMP資材を服薬指導に活用した」の割合が高かった。

まとめ (RMP)

- ◆ 本調査において、RMPの認知度(「内容をよく理解している」及び「内容をある程度理解している」)は、病院、薬局・薬店において高かった。調査対象が異なるため、直接の比較はできないが、平成29年度調査※と比較しても病院、薬局におけるRMPの認知度は向上していることが期待される結果であった。
- ◆ RMPやRMP資材の活用については、RMPの内容をよく理解している、ある程度理解していると回答した回答者においては、業務に活用したことがある方が60%弱であった。調査対象が異なるため、直接の比較はできないが、平成29年度調査※と比較しても病院、薬局において、活用したことがある方の割合は高くなっていることが期待される結果であった。
- ◆ RMPの活用事例について「特に業務に活用したことはない」を除くと、「RMPを新薬採用／取扱い時にリスク把握の情報源として活用した」が最も多かった。患者向け資材の活用については全体で17.2%に留まった。
- ◆ RMP及びRMP資材の入手先は「PMDAのホームページ」が最も多く、ついで「製薬企業の医薬情報担当者(MR)」であった。また、所属によって大きく違いはなかった。

※：『平成29年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より

【調査対象】 全国の保険薬局のうち5%無作為抽出 (2,934施設) 【回答者】 調査対象施設における管理薬剤師またはDI担当者

『平成29年度 病院における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より

【調査対象】 全国の病院のうち10%無作為抽出 (844施設) 【回答者】 医薬品安全管理責任者

総括

- ◆ PMDAメディナビについては令和3年2月末時点で19万件以上の登録件数があり、多くの方にご利用いただいているが、本調査の結果から、配信頻度の高さなどから十分に情報を活用いただけていない可能性が示唆された。特に重要な情報については、タイトルやより読みやすい文章とするための工夫などが課題であると考えられる。
また、受信するメールを選択できることを知らない方も多くいる可能性も示唆されたことから改めてメディナビの機能について周知することも必要であると考えられる。
- ◆ 本調査の結果から、PMDAメディナビで得た情報については、主に勤務先施設内にて情報共有されていることが示唆された。多くの方にご利用いただいているが、受け取っている方からさらに情報共有されていくことで情報が隅々まで届いていることが期待された。引き続き施設内に限らず、積極的な情報共有をお願いしたい。

総括

- ◆ RMPについて、直接比べることはできないが、本調査では平成29年度調査※¹時と比較して認知度、活用したことがある方の割合は高くなっていることが期待された。PMDAの取組みである「3分でわかる！RMP講座」やe-ラーニング動画「今日からできる！How to RMP」の公表などが、一定効果あったものと考えられる。
- ◆ RMPやRMP資材の入手方法について、「PMDAのホームページ」が最も多く、ついで「製薬企業の医薬情報担当者(MR)」であったが、一般診療所においては「製薬企業からのダイレクトメール(DM)」の割合が他に比べて高い傾向にあるなどの特徴も見受けられた。本調査期間中はCOVID-19により、以前よりもMRの訪問に制限がかかっている状況下であったことも影響した可能性が考えられる。
- ◆ 本調査の結果から、RMP資材(特に患者向け資材)については活用が進んでいないことが示唆された。RMP資材は、平成29年度調査の望まれる方向※²で述べられているように通常のリスク最小化活動に加え、各医薬品の特性を考慮した上で、安全対策上、医療従事者に提供することが必要な情報をとりまとめたものであり、積極的な活用が望まれている。PMDAとしても引き続き周知を続けていきたい。

※¹：『平成29年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より

【調査対象】全国の保険薬局のうち5%無作為抽出(2,934施設) 【回答者】調査対象施設における管理薬剤師またはDI担当者
RMPの内容をよく理解している又は内容をある程度理解していると回答した施設を対象とした設問

『平成29年度 病院における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査』より

【調査対象】全国の病院のうち10%無作為抽出(844施設) 【回答者】医薬品安全管理責任者
RMPの内容をよく理解している又は内容をある程度理解していると回答した施設を対象とした設問

※² 平成29年度 医療機関における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査

主な調査結果および望まれる方向(病院)：<https://www.pmda.go.jp/files/000225904.pdf>

主な調査結果および望まれる方向(薬局)：<https://www.pmda.go.jp/files/000225907.pdf>